

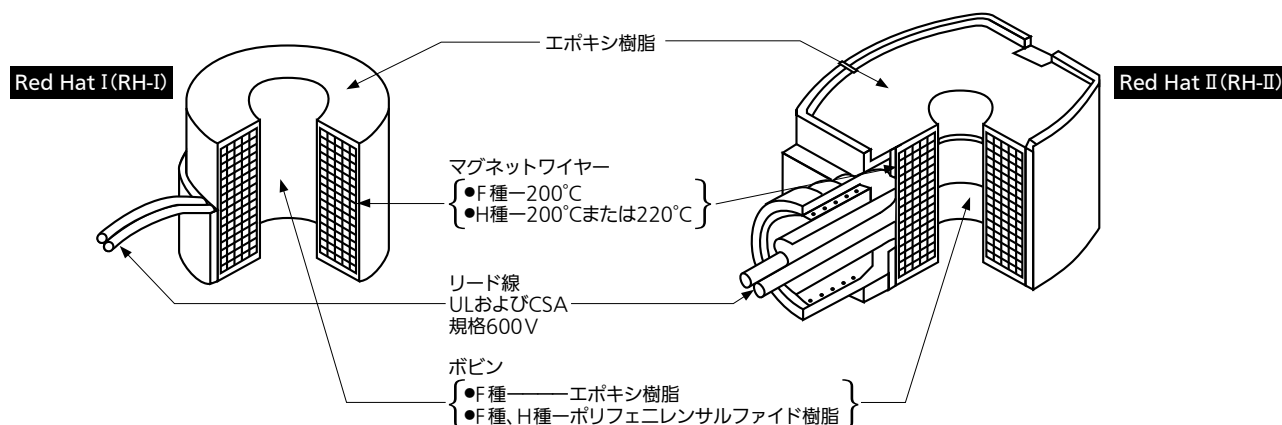
4 コイル特性

アスコ電磁弁は耐湿性・防菌性に優れたモールドコイルを標準装備しており、45cmのリード線がついています。これらはすべて産業用電源に適用できるように設計されています。

当社の標準的な製品については、最高作動圧力差を加えた状態で定格電圧から15%低い状態で作動テストを実施しています。一部型式を除き、定格電圧の-15%～+10%の範囲で連続通電して使用可能です。

■ コイルの絶縁と耐熱温度

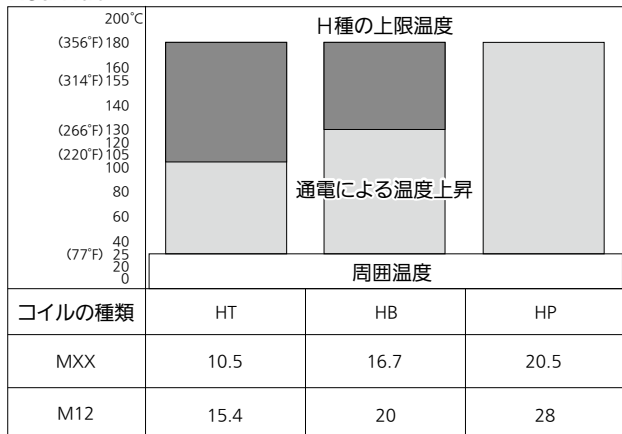
コイルの絶縁等級	耐熱温度
F種	155°C
H種	180°C



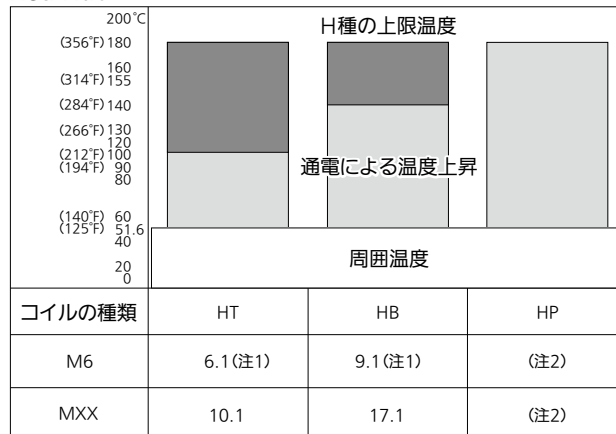
□ ソレノイドとコイルの絶縁等級と熱特性

代表的な消費電力と絶縁等級毎の余裕温度値を示します。

Red Hat I



Red Hat II



- 高温の流体または周囲温度の上昇のための温度上昇の余裕幅
- 通電によるコイルの自己温度上昇
- 周囲温度 (Red Hat I: 25°C, Red Hat II: 51.6°Cと設定)

- 抵抗法による測定。
 - 周囲温度はコイル温度の上昇に直接影響しますが、流体温度はわずかしか影響しません。
- 注1. M6サイズで50Hz電源仕様の場合は2W高くなります。
 注2. 限られた電磁弁に適用します。

* これらのコイル温度に関する値は、防爆製品についての規格や法規は考慮していません。